

事業名	保険者機能強化推進交付金事業		調査番号	23
細事業名	地域リハビリテーション広域支援センター事業費	財務コード	968310	
担当部課室	福祉保健 部 健康長寿推進 課 認知症・地域支援 担当 (内線)	3111		

I 事業の概要

実施期間	始期 H16 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	山梨県(委託)						
目的	<table border="1"> <tr> <th>だれ(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>市町村担当者、医療・介護に従事している職員</td> <td>地域リハビリテーションに対する取り組みが周知され、活用されている。</td> <td>各圏域における地域リハビリテーション体制を推進する。</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	市町村担当者、医療・介護に従事している職員	地域リハビリテーションに対する取り組みが周知され、活用されている。	各圏域における地域リハビリテーション体制を推進する。
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
市町村担当者、医療・介護に従事している職員	地域リハビリテーションに対する取り組みが周知され、活用されている。	各圏域における地域リハビリテーション体制を推進する。					
内容	<p>地域リハビリテーション広域支援センターを設置し、各圏域における地域リハビリテーション体制を構築する。</p> <p>①市町村・事業所からのリハビリテーションに関する相談対応(電話、訪問等)</p> <p>②地域リハビリテーション実践研修会の開催                  目的: 高齢者に関わる医療・介護・行政等関係者の高齢者の自立支援に向けた支援のスキルアップを図る。                  対象者: 圏域内のリハビリテーション専門職、介護支援専門員、看護師、相談員等医療・介護に従事する者                  圏域内の市町村・包括支援センター職員等                  回数: 各圏域2回程度                  内容: 市町村の実情に合わせた実践につながる内容                  H30実績(市町村の総合事業の取り組みについて、オーラルフレイルについて、認知症について等)</p> <p>③市町村の保健福祉事業への協力                  内容: 市町村の介護予防事業へ専門職を派遣する。                  派遣先: 市町村の推進会議、地域ケア会議、住民向け研修会等</p> <p>④地域リハビリテーション連絡会を開催                  参加者: 市町村、医師会、ケアマネ協会、PT士会、OT士会、ST士会、圏域内医療機関、保健福祉事務所等                  回数: 各圏域2回                  内容: 事業計画の策定、実績報告、情報交換等</p>						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	連絡会の開催	目標	8回	8回	8回	8回	8回	8回
		実績(見込)	8回	8回	8回	8回	8回	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標	研修会の参加者	目標	300人	300人	300人	300人	300人	300人
		実績(見込)	452人	361人	275人	270人	415人	300人
		達成率	150.7	120.3	91.7	90.0	138.3	
		達成区分	a	a	b	b	a	
決算(予算) 単位: 千円		2,649	2,649	2,649	2,649	2,649	2,698	2,711

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	
成果指標	a		地域リハビリテーションの実践について研修会を通じ、市町村職員と医療・介護に関係する職員の知識が向上し、関係者との連携が図れている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

判断	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
有効性(成果向上)	判断	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない	
説明	H16年から連絡会や研修会等を開催し、地域リハビリテーション体制を構築することで、市町村事業の充実が図れている。		
見直しの余地	判断	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない	
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	
その他	説明		
見直しの必要性	有	リハビリテーション支援センターと各圏域に設置されている地域リハビリテーション広域支援センターの現状の役割を踏まえ、より効果的な運営体制を構築する必要がある。	

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	令和2年度中に関係機関と協議し、より効果的な運営体制に向けた検討を行う。(見直しは令和3年度当初予算に反映予定)
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。